

内保連・外保連・看保連

内科系学会社会保険連合 外科系学会社会保険委員会連合 看護系学会等社会保険連合

シンポジウム講演録

シンポジスト

齋藤 寿一 氏(内保連代表)

山口 俊晴 氏(外保連代表)

井部 俊子 (看保連代表)

司会:紙屋 克子 (看保連副代表)

日時:平成19年2月19日(月)16時~18時半

場所:聖路加看護大学本館1階

アリスCセントジョンメモリアルホール

はじめに

このたび、看護系学会等社会保険連合（看保連）の発足を記念して、すでに多くの活動実績をもつ内科系学会社会保険連合（内保連）と、外科系学会社会保険連合（外保連）に呼びかけて、三つの社会保険連合（三保連）が一堂に会して三保連シンポジウムを開催いたしました。

本報告書は、三保連シンポジウムの講演録と意見交換の内容をまとめたものです。

看保連は、先輩格である内保連と外保連から学び、今後は三保連として連携し、協働していくことが診療報酬・介護報酬の適正化に貢献することができるという認識をもつことができた貴重な機会となりました。

この決意と情熱を忘れないために、ここに第一回三保連シンポジウム報告書をお届けします。

看保連代表 井部 俊子

目 次

1. 内保連・外保連・看保連（三保連）シンポジウム 講演録	3
看保連の活動について	3
内保連の活動について	7
外保連の活動について	12
意見交換	21
2. アンケートの結果	29

内保連・外保連・看護連(三保連) シンポジウム プログラム

日時 : 2007年2月19日(月)16時~18時半

場所 : 聖路加看護大学 1階 アリスCセントジョンメモリアルホール

プログラム:

16:00~16:20 あいさつならびに看保連の発足について
看保連代表 井部 俊子 (聖路加看護学学長)

16:20~16:35 内保連の活動について
内保連代表 齋藤 寿一 先生
(社会保険中央総合病院 院長)

16:35~16:50 外保連の活動について
外保連代表 山口 俊晴 先生
(癌研究会有明病院 消化器外科部長)

16:50~17:50 意見交換
司会:看保連副代表 紙屋 克子
(筑波大学看護・医療科学類 教授)

17:50~18:00 まとめ

1. 内保連・外保連・看保連（三保連）シンポジウム講演録

紙屋：本日、看護系学会等社会保険連合(以下、看保連と略す)、内科系学会社会保険連合(以下、内保連と略す)、外科系学会社会保険委員会連合(以下、外保連と略す)の各代表をお招きし、3 保険連合によるシンポジウムを企画いたしました。看保連は適正な診療報酬体系の構築を目指しておりますが、なにぶんにも経験が浅いものですから、歴史のある内保連、外保連の活動から学び、今後の連携について検討することが本シンポジウムの趣旨でございます。ご快諾くださいました内保連、外保連の先生方には心からお礼申し上げます。

早速、プログラムに従って進めて参ります。まず、井部俊子看保連代表から、ご挨拶ならびに看保連の概要についての説明をよろしく願いいたします。

●看保連の活動について●

(井部俊子：看保連代表／聖路加看護大学学長)

内保連、外保連のお話をうかがいます前に、看保連について簡単に説明したいと思います。

◆看保連の設立

看保連の設立に際しては、「国民の健康の向上に寄与するために、科学的、学術的根拠に基づいて、看護の立場からわが国の社会保険の在り方を提言し、診療報酬体系および介護報酬体系等の評価・充実・適正化を促進することを目的とする」としております。つまり、単に看護職の利益誘導ということではなくて、診療報酬や介護報酬を適正に使うために看護から発言をしようということが意図されているわけです。

看保連は、2005年7月に39の学会等の代表が集結して発足し、その後、2006年5月に新たに日本循環器看護学会が新規加入して、今ちょうど40の学会と団体が加盟しています。

◆看保連の構成

「規約」の第4条「構成」に記されています。まず、「(1)組織の目的に賛同し、組織の維持発展に協力を希望する加盟看護系学会および加盟団体より1名ずつ選出された委員によって構成される」となっています。したがって、肩書は、所属の学会・団体等の代表という形で入ることになります。また、「(2)新規加盟学会等については、所定の手続きにより申請を行うものとし、役員会議で決定

し、総会で報告する」とし、その学会はできるだけ全国的な規模の組織であることを条件としています。次は、これからの総会で検討したいと思っているので、少し勇み足なのですが、「(3)役員に選任された委員の所属する加盟学会・団体は、委員を別に1名選出することができる」としたらどうかと思っています。私は日本看護管理学会の代表なのですが、全体のことをやっているのです、所属の学会からはもう1名委員がいたほうが活動がしやすい、ということです。これは次の総会に諮りたいと思っていることでもあります。

また、看護系の委員が、中央社会保険医療協議会（以下、中医協と略す）にどのように関与しているかということをもとめてみました。まず、中医協の診療報酬基本問題小委員会に、古橋美智子さん（日本看護協会副会長）が出ています。診療報酬調査専門組織 DPC 分科会には嶋森好子さん（京都大学医学部付属病院看護部長）、医療機関のコスト評価調査分科会には私が出ています。慢性期入院医療の包括評価分科会には泉キヨ子さん（金沢大学大学院教授）、医療技術評価分科会には野末聖香さん（慶應義塾大学教授）が出ています。中医協直接ではなくて、その下の委員会だったり、分科会だったりしますけれども、このような形で看護職が関与しています。なお、古橋さんは、中医協の専門委員となっています。

表1 看護系学会等社会保険連合(看保連)の加盟学会・団体

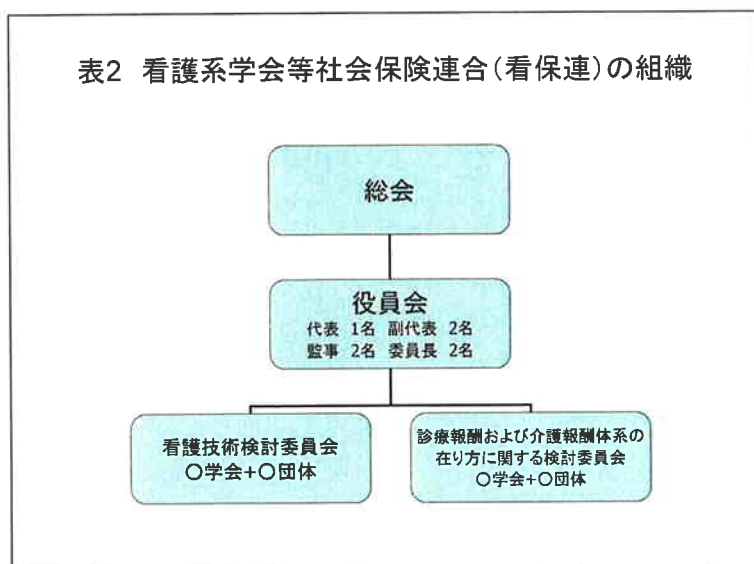
- | | |
|---------------------------|---------------------|
| • 高知女子大学看護学会 | 聖路加看護学会 |
| • 日本家族看護学会 | 日本看護科学学会 |
| • 日本看護管理学会 | 日本看護学教育学会 |
| • 日本看護教育学学会 | 日本看護研究学会 |
| • 日本看護診断学会 | 日本看護福祉学会 |
| • 日本がん看護学会 | 日本救急看護学会 |
| • 日本災害看護学会 | 日本在宅ケア学会 |
| • 日本手術看護学会 | 日本小児看護学会 |
| • 日本助産学会 | 日本新生児看護学会 |
| • 日本腎不全看護学会 | 日本赤十字看護学会 |
| • 日本地域看護学会 | 日本糖尿病教育・看護学会 |
| • 日本難病看護学会 | 日本不妊看護学会 |
| • 日本母性看護学会 | 日本老年看護学会 |
| • 日本看護技術学会 | 日本遺伝看護学会 |
| • 日本クリティカルケア看護学会 | 日本看護学会 |
| • 日本循環器看護学会 | 私立医科大学協会病院部会看護部長会議 |
| • 国立大学病院看護部長会議 | 全国自治体病院協議会看護部長会 |
| • 全国国立病院看護部長協議会 | 社会福祉法人恩賜財団済生会看護部長会 |
| • 社団法人全国社会保険協会連合会看護局(部)長会 | 日本訪問看護振興財団 |
| • 赤十字医療施設看護部長会 | 日本小児総合医療施設協議会看護部長部会 |

(2006年5月現在)

看保連の加盟学会・団体は<表 1>に示しました。ここで、正式名称にある「学会等」の「等」には、国立大学病院看護部長会議、全国国立病院看護部長協議会、社団法人全国社会保険協会連合会看護局（部）長会、私立医科大学協会病院部会看護部長会議、全国自治体病院協議会看護部長会、社会福祉法人恩賜財団済生会看護部長会、日本訪問看護振興財団、日本小児総合医療施設協議会看護部長部会、赤十字医療施設看護部長会が含まれます。

◆看護系学会等社会保険連合（看保連）の組織

看保連の組織は大変シンプルです。総会がありまして、その下に役員会があり、その下に「看護技術検討委員会」と「診療報酬および介護報酬体系の在り方に関する検討委員会」という 2 つの委員会があります(表 2)。



しかし、少し活動し始めてみると、この 2 つの委員会では不足でありまして、総会でも検討しなければいけないと思っているところです。役員は、代表（井部）、副代表（榮木実枝、紙屋克子）、監事（佐藤エキ子、竹内幸枝）、委員長（古橋美智子、野末聖香）です。

◆看護系学会等社会保険連合（看保連）の方向と重点事項

看保連の方向としては、看護評価の向上に向けて、看護職全体が研究の成果や、知識を横断的に共有し、学術的なエビデンスを深め、積極的に中医協などの政策の場に看護の意見を反映していく、という考え方です。

参考のために、平成 18 年度の診療報酬改定における看護技術に関連した評価を挙げました(表 3：石川陽子「看護技術を診療報酬に結び付けるための研究の展開－研究事例を通して」2006)。ここで、一番印象に残っていますのは、褥瘡ハイリスク患者ケア加算です。そして、訪問看護の重症者管理加算・在宅移行管理加算の引き上げ、医療安全対策加算、ニコチン依存症指導管理料、喘息治療管理料、ウイルス疾患指導料、精神科・訪問看護指導料の制限回数の緩和、精神科退院前訪問指導料制限回数の緩和などが、看護の技術に関連しています。